

実在の遺書を基に紡ぎ出される感動の舞台
“特攻の母”と呼ばれた女性“鳥濱トメ”の目線から特攻隊員の生き様を描く

戦後72年を飛び越えて

『MOTHERマザー～特攻の母 鳥濱トメ物語～』

大林素子さん、ワッキーさん出演で10月5日より東京公演を皮切りに全国3箇所で開催



この度、株式会社エアースタジオ(本社:東京都墨田区、代表:大橋由紀子)は、舞台『MOTHERマザー～特攻の母 鳥濱トメ物語～』を東京公演を皮切りに全国3箇所で開催致します。今回が9年目を迎える本作は、大東亜戦争末期の時代に特別攻撃隊員(以下:特攻隊員)達から“母”と慕われた人物“鳥濱トメ”の半生を描いた作品となっております。当時、特攻隊員たちが出撃前に連日訪れた軍指定食堂「富屋食堂」を舞台に特攻隊員達の葛藤や彼らを見送る富屋食堂の経営者“鳥濱トメ”の心情など、そこで繰り広げられる人間模様を描いた心打たれる作品です。大東亜戦争から72年経った今、戦争体験者が減り続けていく日本で、戦争の記憶を舞台を通し現代に生きる日本人へ投げ掛けます。

主人公の鳥濱トメ役には、近年舞台女優としても活躍中のバレーボール元日本代表「大林素子」さんをキャスティング。また、お笑い芸人の「ワッキー」さんは特攻隊隊長久保田利雄役を演じます。“より分かりやすく、より伝わる様に”をテーマに老若男女に楽しんで頂けるステージとなっております。舞台のセットは鳥濱トメ”の実の御子孫である鳥濱明久氏と赤羽潤氏の全面協力の下、当時の空気が観客によりリアルに伝わるように実際の“富屋食堂”を忠実に再現しております。

～あらすじ～

大東亜戦争末期、戦況の悪化に伴い、日本軍は爆弾を抱えて体当たりをする「特別攻撃」を採用した。鹿児島県知覧町にある航空基地からも、連日のように特攻隊が出撃していった。そんな中、特攻隊員たちが、出撃直前に連日、訪れる場所があった。軍指定食堂の「富屋食堂」である。食堂の経営者である鳥濱トメは、明るく気さくな人柄であった為、出撃していく若き特攻隊員たちの心のよりどころとなっていた。隊員たちは、トメに自分の母親の姿を重ねていたのである。彼らは、残されたわずかな時間を富屋食堂で過ごし、よく飲み、よく歌い、夜更けまで語り合った。様々な思いを残して出撃していく特攻隊員たち…トメはただ、彼らを見送ることしか出来なかった…富屋食堂に集う「特攻隊員」と、彼らに母のように慕われた「鳥濱トメ」の姿や心情を丁寧に描いた「MOTHERマザー～特攻の母 鳥濱トメ物語～」がここに誕生!!

<『MOTHERマザー ～特攻の母 鳥濱トメ物語～』公演概要>

- タイトル :戦後72年を飛び越えて『MOTHERマザー～特攻の母 鳥濱トメ物語～』
- 特別協賛 :アース製薬株式会社
- 主催 :株式会社エアースタジオ
- 企画・製作 :株式会社エアースタジオ
- 制作協力 :株式会社プロダクションブギ
- 脚本・演出 :藤森一朗(Air studio)
- 出演 :大林素子/ワッキー/泉川実穂 他
- STAFF :演出助手:松丸雅人/制作:家合貴之/宣伝美術:須田祐大/照明:エアーパワーサプライ
音響:野口量平/美術:熊谷豪/小道具:今田尚志/撮影:村松直/衣裳・メイク:松野梨沙
舞台監督・大道具:加藤裕己/プロデューサー:小林秀平/アソシエイトプロデューサー
杉澤修一
- 協力 :鳥濱明久/知覧ホテル館/赤羽潤/薩摩おこじょ/特別非営利活動法人知覧特攻の母鳥濱
トメ顕彰会/財団法人特攻隊戦没者慰霊平和祈念協会/ホリプロ/NPO法人国際芸術文化
交流振興会/劇団空感演人 他
- 公演日程
 - ・東京公演:2017年10月5日(木)～10月9日(月・祝)@新国立劇場/小劇場
 - ・静岡公演:2017年10月18日(水)@静岡市清水文化会館マリナート劇場/小ホール
 - ・岐阜公演:2017年10月21日(土)@不二羽鳥文化センター/小ホール
- チケット料金
 - ・東京公演:前売り¥6,000(税込)、当日¥6,800(税込)/日時指定・全指定
 - ・静岡公演:前売り¥4,000(税込)、当日¥4,800(税込)/日時指定・全指定
 - ・岐阜公演:前売り¥4,000(税込)、当日¥4,800(税込)/日時指定・全指定
- 購入ページ
 - ・東京公演:<http://bit.ly/2vfk8VD>
 - ・静岡公演:<http://bit.ly/2wpGF0I>
 - ・岐阜公演:<http://bit.ly/2wpJLBE>
- 公式ホームページ : http://www.airstudio.jp/index_17mother_tokyo.html
- 公演に関する問合せ : (株)Air studio 03-6659-2830